



自發的緘口の翼賛振 りを議會史に見る

衆議院の舉國一致時艱克服決議案が二十
二日本會議開會劈頭緊急上程され、二十一
日行はれた國務大臣の演説に對する質疑は
一切取り止めることとなつた、國務大臣の
施政方針への質問を行はなかつた議會につ
いて過去の議會史上その實例を調べると、
第一回議會から第七、八回頃までは同様の
先例が散見されるが、その後の議會では同
質疑は一日間程度で打切られてゐる、しか
し第三十五回議會以來は四、五日に亘つて
行はれてをり、また第四十五回議會以降に
あつては質疑數日に亘りながらしかも未だ

了らずして他の議事日程を議了したる後幾
餘の質疑を繼續したことも尠くない。その
内で、質疑の長期に亘つたものを一瞰して
みると、さすがに自由民権思想の地盤に榮
えた政黨華かな頃が最高潮で、政府施政方
針に對する華々しい質問戰こそ全國民の注
視的であつた、田中内閣當時第五十六議
會の七日間が質疑期間のレコードで、次が
岡田内閣六日間、第四十四、四十五、四十
六、五十、五十八、五十九各議會が五日間
に亘つてゐる。

政府の施政方針演説の行はれなかつた第
五十三臨時議會は毛色の變つたもので田中
内閣成立後間もなく開會された關係上、議
員の質疑は政府の施政方針に關する緊急質
問の形で故松田源治氏、永井柳太郎氏ら十
名が立ち、この質疑中に政府の施政方針を
説明してゐる、また解散奏請の場合には三
十五議會後と雖も施政方針演説のみで質疑
に至らぬことがあつたが、その内で犬養内
閣の施政方針演説直後抜的に解散を奏請
し、反對黨から非立憲と攻撃されたのは世
人の記憶にいままだ新しいところである。

今議會で施政方針の質疑が中止となつた
場合には一應、會期終了前に議事が案外す
ら／＼と終了してしまふ場合も考へられ、
これが臨時議會ならば問題はないが、通常
議會で會期三ヶ月と法律で明記してあるか
ら問題は複雑で十分検討する必要がある。
最近の議會では法案山積し、會期延長が常

注 意
本欄は讀者諸君の利用に提供す、治安
と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざ
る限り奇想天外的の奇稿を望む。一文
は四百字位にて取捨は編輯子に一任、
原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

例だが、會期終了前に議事終了した先例として第七回臨時議會があり、同議會は日清戰爭の際で一週間の臨時議會を二日繰上げて閉院式を行つてゐる。

それ空襲だ立ち退け 老幼

國土防空計畫の確立に乗出した内務省では過般の閣議決定以來種々の計畫樹立に腐心してゐるが、都市の自衛防空上最も大きな問題として検討されてゐた避難計畫の指導方針を改正して非常の場合に備へることになつた、従來防空訓練等の際老人および幼児等は警防團員の指導で附近の空地或は大建築物の地下室等に避難させてゐたが、いざといふ場合こんな姑息な方法を取つてゐたのでは徒らに犠牲を大きくするばかりでなく隣組その他の自衛行動に足手纏ひともなるところから今回改正されることになつたもので、新しい指導方針は六大都市および全國重要防空市民中六十五歳以上の老

人十三歳以下の幼児數と、いざといふ時避難し得る故郷とか地方の縁故先等を豫め調査して置き一方國策にも密接な連絡を採つて非常の際は一糸亂れぬ輸送計畫のもとに避難せしめて空襲による災禍を最小限に喰止めようといふのである、尤も郷里も縁故もない老幼者は公共團體によつて安全な場所に避難させる計畫も同時にたてられる譯である、既に内務省は具體的準備にとりかかり、重要都市に對してこれが調査方を命じ六大都市は一月末他の都市は二月末までに完了するはずで、この調査が出来れば空襲が都市を中心として行はれるものである限り慘禍も最小範圍で免れ得るものとして當局は期待してゐる。

秘める東洋文化の 跡や如何

今春三月を期して支那大陸唯一の巨石文化の遺跡たる山東省南定のドルメンならびに附近石器時代の遺跡について大々的發掘

調査をなすこととなつた鳥居龍藏博士はこれに並行して臨淄の龐大なる發掘計畫をこほど發表した——臨淄の調査に關してこれが齊の故都たる文獻の根據に本づいて昭和三年よりすでに豫備踏査を行ひ同所の丘陵より石器時代の石斧、土器を發掘、また骨塚も發見、當時の蕃族たちが常食としてゐた動物の骨捨場所として蕃族生活地たるを確認したが、また二千五百年前すなはち周時代の素燒の土器三個や子安貝の古錢ならびに漢時代の瓦なども發見していよいよ究明の熱情に燃え、その後十餘年にわたつてあらゆる方面より文獻的調査を進めたものであつた、その結論として臨淄こそ支那古代より現代までの東洋文化遺跡をその地層に抱くものであり、またこの考古學層の徹底的調査こそ有史以來の支那民族の生活狀態と諸文化をも系統的に明瞭ならしめるものであるかくて神祕のなかに包藏されされるわけである。

臨淄發掘は三ヶ年計畫で第一期より三期にわたつて實施され、人類學、地質學ならびに考古學三方面より徹底的調査がなされるが地質學的方面では淺田龜吉博士が擔當協力することになつてゐる、これが第一期發掘は三月初旬より博士夫妻、愛嬢みどりさんその他助手たちの獻身的努力のうちにつゞけられることになつた、支那文化の推移究明のため、貴重な臨淄發掘は逐次世界學界に尊い東洋文獻として發表されるともにまた發掘物は當局に委ねて永遠に山東にかがやく文化として省内に保存するやう奔走することになつてゐる。

鳥居博士は語る

『臨淄の今後三年にわたる發掘調査は考古學的にも文化史的にも研究が進められるわけですが東洋において他に臨淄ほどの考古學層を見出すことは困難でせうその意味で實にこの發掘には重要性がありますが、左傳にも齊侯が貝邱すなはち貝塚で狩をしたといふ言葉がありこの地こそ齊の時代す

にその以前の時代の遺跡であつた證據であり昭和三年當時ごとく私の發掘した土器に彫つてあるこゝ文字が日本で發掘された銅器の文字ともきはめて似てゐるので非常な興味をもつてゐます、臨淄の發掘への期待はその地下に埋もれてゐる支那の年代記を克明に一つ一つ開いて行くことにあるのである』

美しき珍魚龍宮の使レガレツクス

魚類中最美の珍魚が。山口縣阿武郡三見村大敷で捕はれ萩田中博物館に寄贈した館主街の魚博士田中市郎氏の談によると、この珍魚は今迄時々捕獲された珍魚で魚類の最美の龍宮使學名『レガレツクス』で。從來捕れたものは尾が切れヒレが折たり不完全のものであつたが今回のものは尾の最端ヒレまでついて居る長さは五尺、巾一寸内外で素晴らしい細長延平な銀白色に青黒い丸形の斑點が全面に散在ヒレは全部眞紅殊に

目立は背ヒレ數百の最も最前端に數本のヒレは頗る長く『立かみ』の如く腹ヒレ二本も同様長く紐狀に延び美麗且つ珍妙で斯界の權威者にその寫眞を送ることになつて居る。之れは果して何の兆ぞ？

險の母を慕ふ乙女 心と良寛和尚

相馬御風氏に依つて發見された良寛和尚の作松山鏡は次の如き歌詞である。

「越路なる 松の山べの をさな子が 母にわかれて しのびずて あひ見むことを むらぎもの 心にかけて あらたまの 年の三とせを 戀ひつゝも すぐしやりつれくれぐれと 年の師走の 市にいいでゝも の買ふ時に ますかがみ 手にとりみれば わが面の 母に似たれば 母自刀はここに ますかと よろこびて います日のごと こと問ひて ありの限りの あたひもて 買ひて歸りて 朝にけに 見つゝしぬぶと 聞くかともしき